

□議員名：山田伸幸

1 国民健康保険について

論点	市の国保世帯は平均所得が150万円から180万円の低い状況でありながら、年間25万円程度の高い保険料が課せられている。そこで合計で約9億円ある繰越金と基金を活用して、支払いやすい保険料にしてはどうか。そうしないと収納率のアップにつながらないのではないのか。
回答	市の保険料は高いという認識は持っているが、今年度に約2億円の基金をつぎ込んでも現状維持が精一杯である。収納率アップも求められており、今後、県単一化をにらみながら基金の活用を考えていきたい。

論点	資格証明書を発行する際に、本人と面談なしで実行しているが、不利な行政処分をする際にはせめて面談が必要ではないのか。
回答	行政処分をする時であっても、行政側が努力をしても、対象者が応じない場合は、面談がなくても行政処分ができる。

2 介護保険について

論点	要介護認定で要支援とされている方が介護保険から外され、総合事業に振りかえられる。要支援を含む介護の予防が地域やボランティアによってそういった方の支援を展開しているが、市として補助金なりの支援が必要ではないのか。
回答	これまでは意識啓発が中心であったが、今後は介護予防の取り組みを支援することを検討している。事業要件を満たす取り組みをすれば運営補助などの形がとれるのではないかと考えている。

論点	地域では、支援事業に参加する方も呼びかける方も高齢者である場合があり、境目がない。高齢者への支援は、地域の自治会館に出かけてもらうだけでも評価に値するのではないのか。こういった地域の実態が分かっているのか。市長にお答えいただきたい。
回答	地域の現場でおこなわれている活動が有益な事業であるということを感じた。何らかの支援ができるように検討していく。

3 耐震事業について

論点	個人住宅の耐震化が進んでいないが、熊本地震以後耐震診断の申し込みが予定の枠を越えて殺到している。利用希望者に応えていくことで、耐震化が進むと考えるがどう考えているのか。
回答	5年間で1件しか申し込みがなかったが、今年度はすでに枠をオーバーしており、補正予算なりで対応していきたい。